

平成 27 年 7 月 16 日 (木)

白嶺祭における募金活動



今年の4月25日、ネパール中部でマグニチュード7.8の地震が発生し、首都カトマンズをはじめとする広い地域で、歴史的建造物を含む多くの建造物の倒壊、雪崩、土砂災害などにより甚大な被害が発生しました。そこで、白嶺祭で保健委員会がタピオカジュースを販売し、昨日、売上金約3万円を日本赤十字社に募金として寄付し、大糸タイムスの取材を受けました。委員長さん副委員長さんから、この取組みについて次のように語っていただきました。宮澤委員長さん「タピオカジュースの売上金をネパールに募金するという活動は1円でも多くの募金が集まり、何か一つでも役に立てたらいいと思い行いました。副委員長さんと先生に協力してもらい販売もうまくいってよかったし、多くの募金が集まって良かったと思いました。」、山崎副委員長さん「タピオカジュースを通じて、ネパールの人たちに募金という形で関わり、大町高生だけでなく地域の方々にも協力してもらえて大変良い経験となりました。協力してくれた皆様のおかげで大成功でした。」、山形副委員長さん「ネパールで起きた揺れを日本で感じることはなかったが、テレビでその状況を見て大きなショックを感じました。今回、このような形で、ネパールの復興に少しでも貢献できたことを嬉しく思います。予想以上の成果をあげられて、募金して頂いた皆様に感謝したい。」、平川副委員長さん「初めてのタピオカジュース販売。思っていた以上の募金が集まり、寄付することができとても嬉しいです。また、ネパールの地震から約3ヶ月、今回の募金ではお金を集めるだけでなく、被災地に関心をもつきっかけをつくることのできたと思っています。購入して下さった方々に感謝を込めて、ネパールの1日も早い復旧を願っています。」

